

# ワカサギ釣り解禁

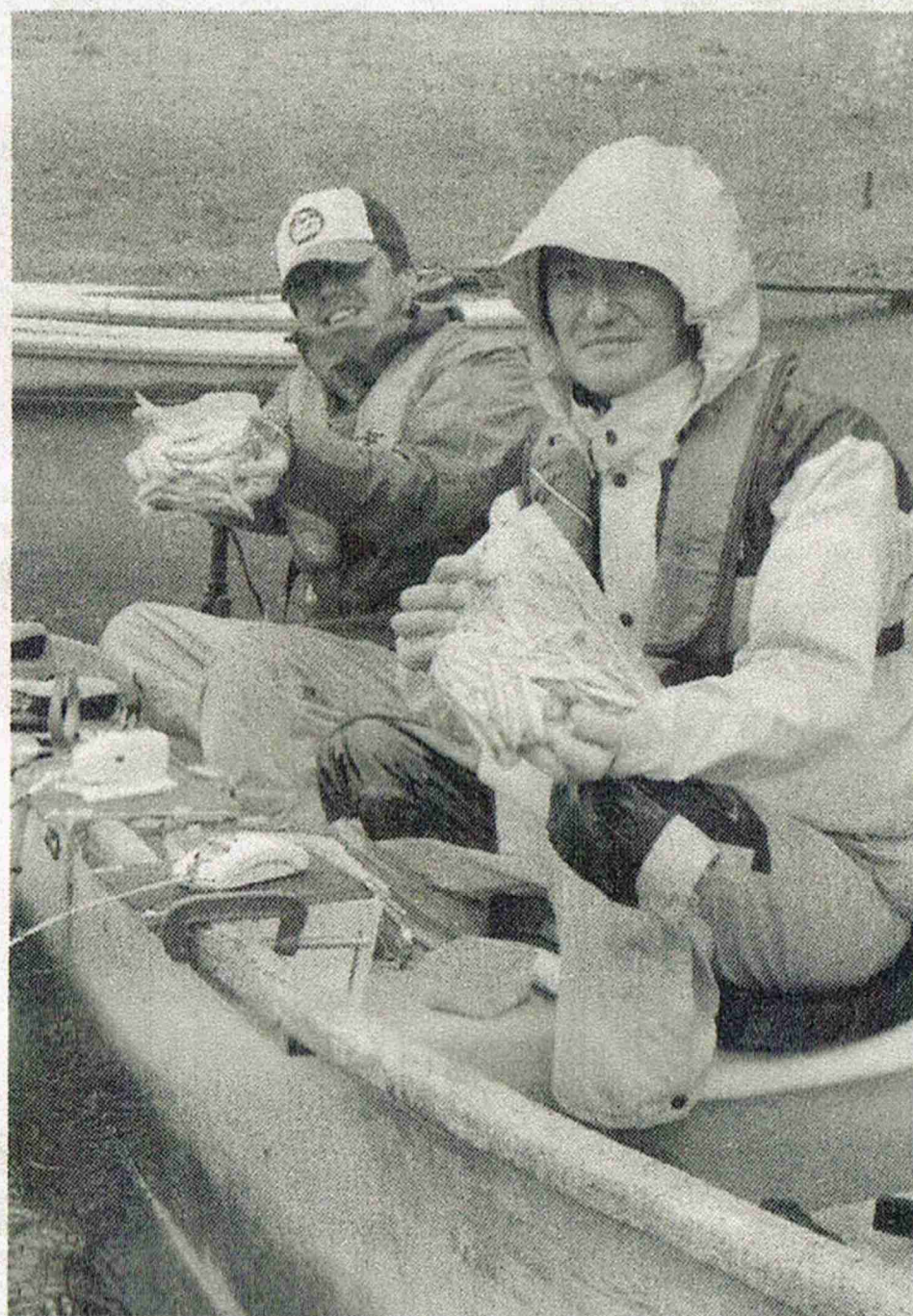
諏訪湖方式  
3年目 釣果期待できそう

梅田湖

桐生市梅田町の梅田湖で5日、ワカサギ釣りが解禁された。台風18号の接近に伴い終日雨に見舞われる中、両毛漁業協同組合(中島淳志組合長)によると約90人の釣り客が訪れ、短時間で300匹以上釣る人が相次ぐなど、上々の解禁日となった。

同湖を県内屈指のワカサギ釣りの名所にしようと、同漁協は一昨年からは、長野県の諏訪湖で開発された新しいふ化方法を県内初導入。従来約15%だったふ化率が約90%と飛躍的に向上し、今年も計2000万粒の卵を放流して成長を待った。

9月の県の放射能測定で基準値(1キロ当たり100ベクレル)以下の同6・3ベクレルにとどまり、無事に迎えた解禁日。中島組合長は「諏訪湖方式3年目で、ワカサギは着実に増えている。天気が回復し水質が安定すればさらに釣果が上がる



数百匹のワカサギを釣り笑顔の釣り仲間 (梅田湖で)

だるう」と期待する。来年3月27日まで

同湖のワカサギ釣りは来年3月27日まで。遊漁時間は午前5時〜午後5時。入漁料は大人1日1500円、現場1日2200円。小学生以下無料。問い合わせは両毛漁協(電話・1459)へ。